


<h1>そだて</h1> <p>第268号</p>	<p>小千谷市 青少年育成センター</p>	<p>〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 82-6771 e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp URL http://www.city.ojiya.niigata.jp/</p>
---------------------------	---------------------------	---

数値で見る子ども・家庭の現状

青少年育成センター所長 関 昌子

今年の2月にある研修会に参加しました。講師の立正大学教育福祉学科教授 大竹智 様からいただいた資料に愕然としました。「このままでは、子どもも親もあぶない!」と思ったのです。なにか家族として、地域としてできることはないのでしょうか。あなたなら、どうされますか?

- | | | | |
|---|-------------------------|-----|---|
| 1 | 17歳男子の背筋力指数（平成9年調べ） | 2.2 |  |
| | 17歳女子の背筋力指数（平成9年調べ） | 1.7 | |
| | ◆大人を介護するのに必要な背筋力指数 | 2.0 | |
| | 子どもをおんぶ・だっこするのに必要な背筋力指数 | 1.5 | |
- 現在出生する子どもの低出生体重児（2500g未満）の割合は、10人に1人
低出生体重児は、貧血・黄疸・慢性肺疾患・無呼吸発作がハイリスクに
 - 自分の子どもを出産するまで赤ちゃんをだっこしたことのなかった母親は、4人に1人
ミルクを与える、おむつを替えることをしたことがなかった母親は、10人中7人
(平成8年 森永乳業調査)
 - OECDの1人親世帯の子どもの貧困率 32.5%
日本の1人親世帯の子どもの貧困率 57.3%
※OECD（経済協力開発機構）ヨーロッパ・北米等
 - 結婚したことのある人の中で、配偶者からDV（家庭内暴力）被害を受けた経験のある人は、20.3%
 - 虐待を受けた子が親になって虐待を行うのは、2～3割

まだまだ多くの数値が資料にはありましたが、子どもたちの健全育成のために、子育て家庭への支援が喫緊の課題であることが分かります。

小千谷市青少年育成センターでは、2名の相談員と、各小・中・高校、民間より選出された33名の青少年補導委員が力を合わせ、

- ① 青少年相談活動・・・電話・メール・来談相談（29年度相談138件）
- ② 街頭補導・・・年間44回の予定（29年度声かけした青少年614人）
- ③ 広報活動・・・機関紙「そだて」を年間6回発行、チラシによる呼びかけ
- ④ 環境浄化・・・有害広告の除去等の活動を行っています。

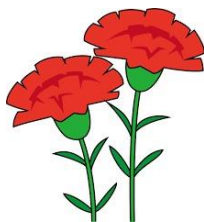
相談活動では、子どもをもつ保護者の方の悩みにも対応していますので、ぜひご相談ください。

機関紙「そだて」では、一人でも多くの子どもたちが、健やかに成長し、自分の夢の実現に向かって生き生きと生活できるよう大人の役割について、多方面からのご意見を掲載していきます。皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

平成30年度 補導委員会の開催

- ◇日時及び会場：5月17日（木）19時、市民会館（4F大会議室）
- ◇委嘱状交付：新しく22名の補導委員に渡されました。
- ◇研修：（講師）小千谷警察署生活安全課長 服部 潤一様
- ◇街頭補導計画の立案：事務局から説明後、班ごとに活動計画を作成しました。

----- 青少年育成センターより -----



街頭補導は年間40回以上、各学校区と、子どもたちの集まる場所を中心に巡回しています。なお育成センターでは、青少年の保護者の方からの相談もお受けします。

青少年育成センター相談電話 0258-82-6771

E-mail s-center@city.ojiya.niigata.jp

相談時間 13:00~16:00 (月~金)